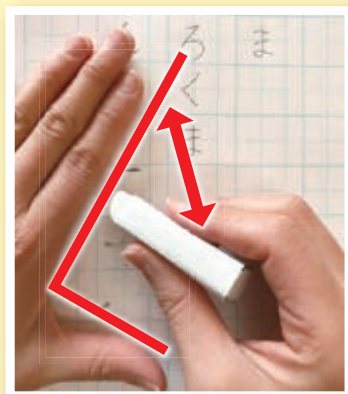


ワンポイント
アドバイス!

消しゴムを 上手に使うコツ!

コツ1

紙を上手く押さえられない場合は、親指と人差し指でL字を作り、その間で消すようにしましょう。また、紙を手のひら全体で押さえられているか確認しましょう。



コツ2

消しゴムが小さいと、つまむのが苦手な子どもは上手く使えません。そのような場合は、大きい消しゴムを使うことをおすすめします。



!! しっかりにぎれて
消しやすい!!



その他

紙が滑って上手く使えない場合は、滑りにくいデスクシートを使うこともよいでしょう。

参考文献 気になる子どものできた!が増える書字指導アラカルト (中央法規)

チェック
ポイント

“斜め”

意外と難しい“斜め”の線

字を書くためには、縦や横だけでなく、“斜め”を理解(認識)している必要があります。斜めを理解するためには、自分の体の中心軸が定まっていなければなりません。お絵かき遊びの中で、×(バツ)や△(三角)が描けるか確認してみましょう。

編集後記

子どもは学んだ字を一生懸命に書いています。大人から見ると、字が傾いていたり大きさが不揃いだったりする字は、つい「きれいに書きなさい」と言いたくなりますが、注意されると書くことや、学習に対しての意欲が下がるかもしれません。子どもの頑張りを認めながら、上手に書くための工夫を提供してあげましょう。

一般社団法人
熊本県作業療法士会 事務局

〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-17

TEL096-389-6780 FAX096-389-6785

<http://www.kumamoto-ot.jp/>

就学前～小学校低学年の子どもをお持ちの保護者の方へ

「書くことの苦手さ」 を理解するために

運筆が不安定



筆圧が強い
(または弱い)

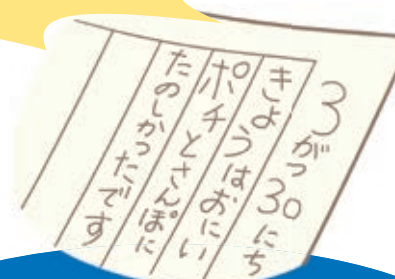


なんで書けないの?!

字の左右が逆になる



字の大きさが整わない



そんな時は

作業療法士に相談してみませんか?



～あそび・学び・生活を支援します～

あそび

あそびを通して、体の発達を促したり、コミュニケーション力を伸ばすお手伝いをします。

学 び

子どもさんにあった学習道具の紹介や教室でできる工夫を保護者や先生と一緒に考えます。

生 活

家庭や園、学校でできる環境の工夫をご提案します。

あそび

学 び 生 活

一般社団法人 熊本県作業療法士会

子どもの書くことの苦手さについて

子ども自身も、上手く書きたいけど書けないもどかしさがあることを知しましょう。



子育て、保育、教育の中で「なんで上手く書けないの?」などと思うことはありませんか?

わたしたちが普段何気なくできている「文字を書く」こと。しっかり書こうと頑張っているけど、筆圧の調整が難しかったり、字の大きさが整わなかったりなどで困っている子どもが中にはいます。そんな時、つい「しっかり書きなさい。」「きれいに揃えなさい。」と言ってしまうこともあります。なかなか上手くはいきません。今回は、「書くことの苦手さ」について、作業療法士の視点からの工夫をご紹介します。

運筆が不安定

- ・力が入らずフニャフニャ
- ・力が入りすぎてカクカク

など



筆圧が強い(または弱い)

- ・芯が潰れるくらい強い
- ・薄くて見えにくい

など



字の左右が逆になる

- ・字の書き出しが間違っている

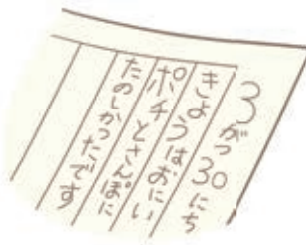
など



字の大きさが整わない

- ・枠内にバランスよく字を書けない
- ・文字がだんだん小さくなっていく

など



作業療法士の視点で考える主な原因について

① 正しく握れていない

正しく握れていないと、筆圧の調整ができず、濃すぎたり薄すぎたりします。



※親指がでっぱっており、鉛筆の先端が手前を向いている。

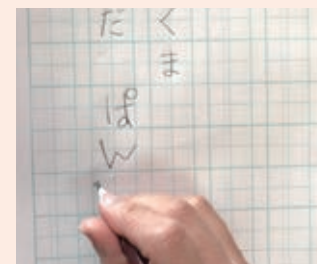
※人差し指が逆「く」の字に曲がっている。

② 手首が不安定



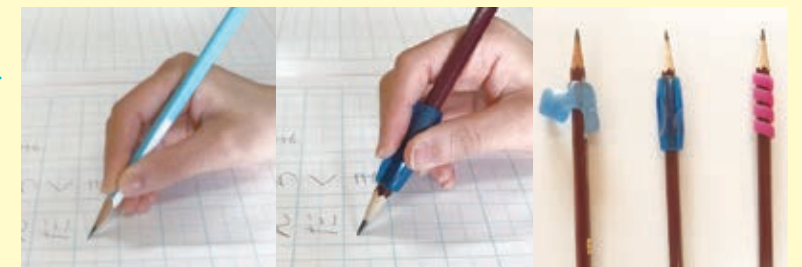
手首が安定していないと、運筆が安定せず、字が整いにくくなります。

③ 空間をとらえることが苦手



空間を上手にとらえられないと、枠にあった字の大きさをイメージしたり、どの位置から書いたらよいか分からなかったりします。

- 三角鉛筆、持ち方グリップを使い、正しい持ち方で書く。



※子どもが使いやすい鉛筆の形やグリップを選びましょう。

- 筆圧が強い場合は芯が硬い鉛筆、弱い場合は芯が柔らかい鉛筆を使う、紙やすりを下敷き代わりにして練習する(160~180程度)。



※筆圧が弱い場合は、手からの感覚を感じにくいことが考えられるので、160~180番程度の紙やすりを敷くことで、動きを感じ取りやすくなります。

- 手首をを起こし、小指側を紙面に着けて書く。



- 補助線入りのノートを使い、字の書き始めに点を打つ。

